

森の川自然散歩

2017年4月号

リュウキュウカジカガエルの声が聞こえてきた



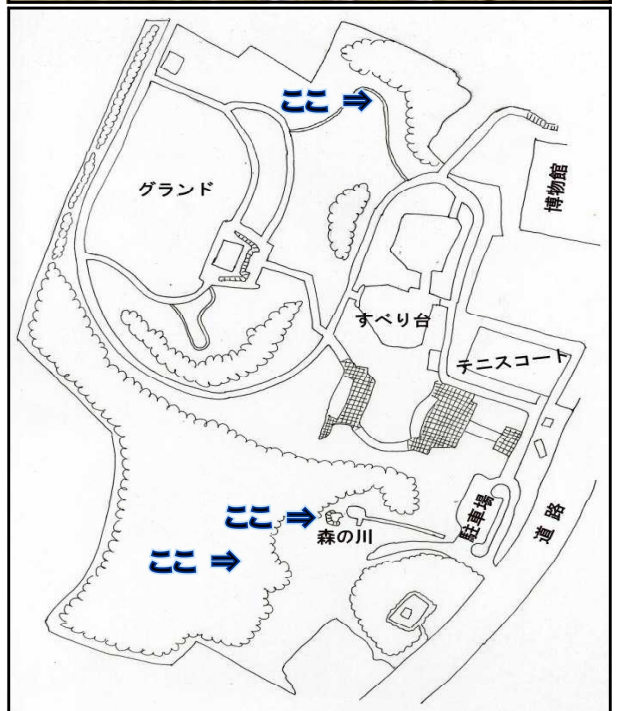
本格的な春の使者



上：水場に集まったリュウ
キュウカジカガエル

右：浅瀬に産み付けられた卵

左：オタマジャクシ



リュウキュウカジカガエルメモ ▶▶▶

- 日が暮れると活動開始。
- 森の川にたくさん集まるよ。
- 鳴き声が、小鳥のようにかわいいよ
- 4月から5月には産卵も見られる。
- 八重山諸島からトカラ諸島まで分布している。
- 沖縄島では北部から南部まで、小川や池の周りはもちろん、湿気のある場所なら、お家の庭にもすんでいる。

森川公園で見つける不思議

温かさとともに、公園は一気に緑におおわれます。
緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

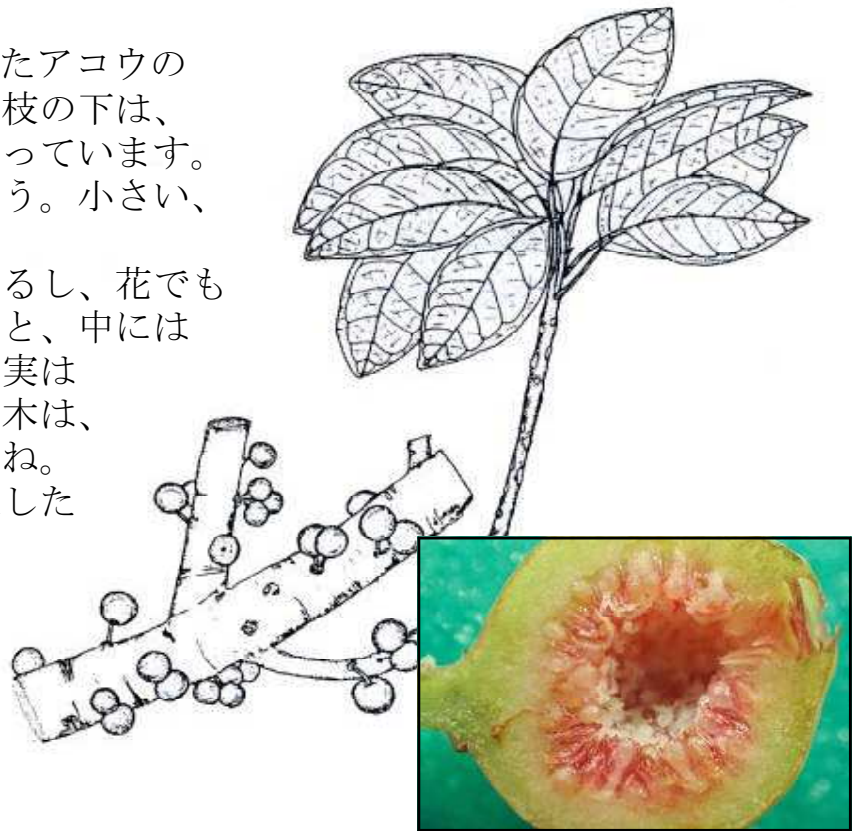
(1) アコウの枝の下で

この前まで、枯れ木かと思っていたアコウの木にも、緑の葉がいっぱい。大きな枝の下は、涼しい(少し肌寒いか?)木陰に変わっています。

木陰から、アコウの枝を見てみよう。小さい、緑の「つぶ」がいっぱい見つかるよ。

この「つぶ」は、アコウの実でもあるし、花でもあるんだ。この「つぶ」を割ってみると、中にはさらに小さなつぶつぶがあります。実はこれがアコウの花なんだ。アコウの木は、花も実も同じ「つぶ」の中にあるんだね。

「つぶ」の中の花は、「つぶ」に侵入した虫たちの力を借りて受粉し、実になります。実が熟すると、「つぶ」の色は赤く変わってきます。だから、実が熟するまでは、外から見ただけでは、この「つぶ」が花なのか実なのか、分からないんだ。



森川公園4月の花ごよみ

ムラサキカタバミ



- 葉っぱは、ハート型の小さな葉が三枚集まった形。(いわゆる三つ葉のクローバ)
- 花びらは5枚、薄い紫色をしている。
- 花をちぎって芯をかじるとすっぱい。
- 年中花を咲かせている。
- ※よく似た花⇒カタバミ
こっちは、ムラサキカタバミよりも花が小さくて、黄色い色をしている。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

